

市議会だより

DAISEN CITY COUNCIL NEWS



ペタンクで健康づくり (西仙北地域 土川半道寺老和会)

ペタンクはフランス発祥の球技で、高齢者から小学生まで年齢を問わずに楽しめるスポーツです。全国健康福祉祭（愛称：ねんりんピック）の正式種目にもなっています。ぜひ出場目指してがんばってください。

新しい議会構成が スタート

公共施設等総合管理計画
調査特別委員会を設置

主な内容

CONTENTS

- | | |
|----------------------|-------|
| ■新しい議会構成 | 2～3 |
| ■第4回定例会、議決結果、賛否一覧 | 4～5 |
| ■9人の議員が一般質問 | 6～10 |
| ■委員会審査のあらまし | 10～11 |
| ■決算審査報告、特別委員会設置 ほか | 12～13 |
| ■先進地に学ぶ、3月定例会お知らせ ほか | 14～15 |
| ■市民の声、編集後記 ほか | 16 |

新しい議会構成がスタートしました

10月2日に第4回臨時会が開催され、議長と副議長の選挙が行われました。単記無記名投票の結果、千葉健議員25票、佐藤文子議員2票となり、千葉健議員が議長に選出されました。副議長は、佐藤芳雄議員25票、藤田和久議員2票となり、佐藤芳雄議員が副議長に選出されました。

また、各常任委員会と議会運営委員会の委員の選任及び大曲仙北広域市町村圏組合など一部事務組合への代表議員が選出されました。

追加提案された議会選出の監査委員として、茂木隆議員が選出されました。

就任あいさつ



議長
千葉 健

市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい平成28年を迎え、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

また、平素より市議会に対し温かいご支援とご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年10月2日の第4回臨時会におきまして、議長に就任させていただきました。身に残る光栄に存じますとともに、その職責の重大さを痛感しているところであります。市民の負託に応えるという初心に立ち返り、より身近で開かれた議会運営に努めてまいります。

大仙市は、大型プロジェクトである「大曲通町地区第一種市街地再開発事業」「大曲駅前第二地区土地区画整理事業」が平成27年度で終了しますが、平成28年度からは、合併特例による国からの普通交付税が徐々に減らされていくこととなり、将来的に厳しい財政運営となることが予想されております。

市議会といたしましても、健全で



副議長
佐藤 芳雄

持続可能な財政運営と様々な市民ニーズへの対応のため、情報の収集や把握に努めるとともに、状況を的確に判断していく必要があると考えております。また、地方分権社会に即した議会改革にも引き続き取り組み、活力に溢れた魅力ある議会を目指してまいります。

昨年の6月からは、議会の本会議をインターネットで中継しており、タブレットPCやスマートフォンで見ることができるようになりました。また、FMはなびでも「市議会だより」という番組を放送しておりますので、ぜひ、お聞きください。よろしくお願いいたします。

今年も議会では、議会の現状を報告し、市民の皆様のご意見・ご要望を伺う市政懇談会を開催いたします。何とぞ多くの市民の皆様からご参加いただけますよう、重ねてお願い申し上げます。

結びにあたり、今後とも大仙市議会に対しまして、ご支援・ご協力をお願いするとともに、市民の皆様のご多幸を祈念申し上げます。あいさつといたします。

議会の構成

◎委員長 ○副委員長

議会運営委員会

◎本間輝男
○渡邊秀俊

大曲仙北広域市町村圏組合議会議員

◎石塚博樹
○渡邊秀俊
秩父博樹
石塚博樹
佐藤文子
小藤裕一郎
児玉裕一
鎌田正

大仙美郷環境事業組合議会議員

◎石塚博樹
○小山緑郎
秩父博樹
佐藤育男
佐藤文子
橋村誠
高橋幸晴
小松栄治
渡邊秀俊
大山利吉

大仙美郷介護福祉組合議会議員

◎石塚博樹
○小山緑郎
秩父博樹
佐藤育男
佐藤文子
橋村誠
高橋幸晴
小山緑郎
古谷武美

秋田県後期高齢者医療広域連合議会議員

◎小山緑郎
○佐藤文子

議会改革推進会議

◎小山緑郎
○佐藤文子
後藤育健
佐藤育男
古谷武美
金谷道美
渡邊秀俊
武田隆

民生委員推薦委員会

◎小山緑郎
○佐藤文子

青少年問題協議会委員

◎小山緑郎
○佐藤文子

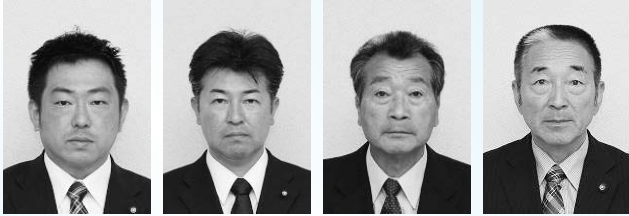
都市計画審議会委員

◎小山緑郎
○佐藤文子
後藤育健
佐藤文子

◎委員長 ○副委員長

企画産業

●企画部、農林商工部、農業委員会の所管に属する事項の審査を行います。



◎後藤 健 (大地の会) ○秩父 博樹 (大地の会) 佐藤 隆盛 (市民クラブ) 橋村 誠 (だいせんの会)



金谷 道男 (大地の会) 渡邊 秀俊 (新政会) 武田 隆 (大地の会)

総務民生

●総務部、市民部、会計課、監査委員、選挙管理委員会の所管に属する事項の審査を行います。



◎佐藤 清吉 (新政会) ○佐藤 文子 (日本共産党) 石塚 柏 (大地の会) 小山 緑郎 (新政会)



大野 忠夫 (大地の会) 児玉 裕一 (だいせんの会) 千葉 健 (大地の会)

建設水道

●建設部、上下水道部（水道局）の所管に属する事項の審査を行います。



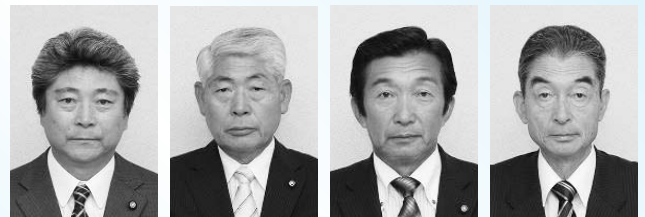
◎佐藤 育男 (大地の会) ○小松 栄治 (新政会) 佐藤 芳雄 (だいせんの会)



富岡 喜芳 (大地の会) 高橋 敏英 (だいせんの会) 本間 輝男 (大地の会)

教育福祉

●健康福祉部、教育委員会、市立大曲病院の所管に属する事項の審査を行います。



◎古谷 武美 (だいせんの会) ○藤田 和久 (日本共産党) 茂木 隆 (新政会) 高橋 幸晴 (大地の会)



大山 利吉 (大地の会) 鎌田 正 (大地の会) 橋本 五郎 (新政会)

第4回定例会 11月27日(金)～12月16日(水)20日間

第4回定例会は11月27日から12月16日までの会期で行われました。本会議1日目は市長の市政報告、継続審査となっていた平成26年度各会計歳入歳出決算の認定について19件と、当局からの人事案1件について審議が行われ、それぞれ認定・同意された後、当局から条例案4件、単行案4件、補正予算案4件が上程されました。本会議2日目は5議員、本会議3日目には4議員による一般質問が行われました。また3日目には条例案、単行案、補正予算案、請願2件、陳情4件が各常任委員会に付託されました。本会議4日目は各常任委員会から報告を求め、条例案、単行案、補正予算案12件を原案可決。請願1件、陳情2件を採択し、採択された陳情については関係機関に意見書を提出しました。また、公共施設等総合管理計画調査特別委員会が新たに設置され、委員の選任及び委員長、副委員長の選任が行われました。主な内容は次のとおりです。

人事案

▼人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて（全会一致で同意）

◇伊藤忠志氏（南外Ⅱ再推薦）

条例案

▼大仙市税条例等の一部を改正する条例の制定について（全会一致で可決）

地方税法施行規則等の一部を改正する省令が公布されたことに伴い、大仙市税条例等の一部を改正する条例について所要の条文整理を行うものです。また、市内温泉施設の負担

軽減を目的に実施している入湯税の税率の低減措置（日帰り入浴150円→50円）について、入湯者数が減少傾向にあることから、措置期間を1年延長するものです。

▼大仙市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定について（賛成多数で可決）

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（マイナンバー法）の規定に基づき、市が個人番号（マイナンバー）を利用する事務（児童扶養手当の支給に関する事務など23事務）を条例規定するものです。

単行案

▼指定管理者の指定について（関連議案3件全会一致で可決）

No.	施設名	指定管理者	指定期間
1	総合公園野球場	(株)大曲スポーツセンター	H28.4.1～H33.3.31
	総合公園テニスコート		
	大曲ファミリースキー場		
	大曲ファミリーキャンプ場		
2	サン・スポーツランド協和	(株)協和振興開発公社	H28.4.1～H33.3.31
	サン・スポーツランド協和野球場		
	サン・スポーツランド協和体育館		
	協和多目的交流施設		
3	協和スキー場	(株)協和振興開発公社	H28.4.1～H33.3.31
	協和林業休養センター美山荘		
	協和林間球技場		
	協和休養センター		

補正予算

▼平成27年度大仙市一般会計補正予算（第5号）（全会一致で可決）

歳入歳出予算の総額に3億9479万9千円を追加し、補正後の総額を476億2830万5千円とするものです。

主なものは、社会福祉法人柏仁会が西仙北地域の「ありす刈和野」で実施している認知症高齢者グループホームの増床事業に対する貸付金4000万円、今年度の生活保護費のうち、今後の見込みを踏まえた不足分の医療扶助費と、26年度の実績確定に伴い介護扶助費分の国庫負担金の超過受入に係る返還金合わせて2億4689万円、本年産大豆作付面積の大幅増加に伴い、経営体支援や高品質出荷奨励などの市単独の助成金の不足分として1867万3千円、国から市へ交付されている産地交付金の当初設定配分単価の減額により、市単独で不足分の補助3286万4千円などです。

▼平成27年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算（第1号）（全会一致で可決）

来年度から大曲南幼稚園に給食を提供する仙北学校給食センター及び学校給食総合センターの設備等の整備に伴うもので、1215万8千円の補正です。

平成27年第 4 回臨時会 議決結果

番号	件名	議決結果
議案第121号	監査委員の選任について	同意

平成27年第 4 回定例会 議決結果

番号	件名	議決結果
議案第100号	平成26年度大仙市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第101号	平成26年度大仙市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第102号	平成26年度大仙市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第103号	平成26年度大仙市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第104号	平成26年度大仙市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第105号	平成26年度大仙市奨学資金特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第106号	平成26年度大仙市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第107号	平成26年度大仙市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第108号	平成26年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第109号	平成26年度大仙市特定地域生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第110号	平成26年度大仙市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第111号	平成26年度大仙市老人デイサービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第112号	平成26年度大仙市スキー場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第113号	平成26年度大仙市内小友財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第114号	平成26年度大仙市大川西根財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第115号	平成26年度大仙市荒川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第116号	平成26年度大仙市峰吉川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第117号	平成26年度大仙市船岡財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第118号	平成26年度大仙市淀川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第122号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
議案第123号	大仙市税条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第124号	大仙市行政不服審査法に基づく手数料条例の制定について	原案可決
議案第125号	行政不服審査法の全部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第126号	大仙市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定について	原案可決
議案第127号	字の区域の変更について	原案可決
議案第128号	大仙市総合公園野球場等の指定管理者の指定について	原案可決
議案第129号	大仙市サン・スポーツランド協和等の指定管理者の指定について	原案可決
議案第130号	協和スキー場等の指定管理者の指定について	原案可決
議案第131号	平成27年度大仙市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第132号	平成27年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第133号	平成27年度大仙市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第134号	平成27年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
請願第9号	T P P 交渉に関する請願	継続審査
請願第10号	西仙北地域強首地区内の道路・水道等に関する請願	採 択
陳情第37号	必要な医療・介護が受けられ、安心して暮らせる年金制度など「社会保障の充実を国に求める」意見書提出の陳情書	採 択
陳情第38号	「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」の意見書を求める陳情書	採 択
陳情第39号	安全保障関連2法(国際平和支援法、平和安全法整備法)廃止の意見書提出を求める陳情について	不採択
陳情第41号	安全保障関連2法(国際平和支援法、平和安全法整備法)廃止を求める陳情	みなし不採択
意見書第25号	必要な医療・介護が受けられ、安心して暮らせる年金制度など「社会保障の充実を国に求める」意見書	原案可決
意見書第26号	「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」を求める意見書	原案可決
発議案第1号	公共施設等総合管理計画調査特別委員会の設置について	原案可決

※みなし不採択とは…同一会期中に同じ内容の趣旨・内容の陳情を不採択とした場合に採決せず、同じ議決をしたものとみなす取扱いの事です。

第 4 回定例会賛否一覧

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ、表示しています。

議案等名	会派・議員名	議決結果	大地の会											新公会				だいせんの会			共産党	野										
			鎌田正	武田隆	大山利吉	金谷道男	秩父博樹	後藤健	佐藤育男	石塚 柏	高橋幸晴	富岡喜芳	大野忠夫	本間輝男	千葉 健	橋本五郎	小松栄治	佐藤清吉	渡邊秀俊	茂木 隆	小山緑郎	高橋敏英	佐藤芳雄	古谷武美	橋村 誠	児玉裕一	佐藤文字	藤田和久	佐藤隆盛			
【議案第100号】平成26年度大仙市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【議案第104号】平成26年度大仙市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【議案第106号】平成26年度大仙市簡水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【議案第107号】平成26年度大仙市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【議案第108号】平成26年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【議案第109号】平成26年度大仙市特定地域生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【議案第110号】平成26年度大仙市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【議案第112号】平成26年度大仙市スキー場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【議案第126号】大仙市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定について	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【陳情第39号】安全保障関連2法(国際平和支援法、平和安全法整備法)廃止の意見書提出を求める陳情について	不採択		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
【発議案第1号】公共施設等総合管理計画調査特別委員会の設置について	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案賛成者は○とし、反対者は●とします。「退」は退席です。議長は採決に加わらないため、斜線としています。



日本共産党
藤田 和久 議員

Q どのような国際花火
シンポジウムを目指すのか

A 地域の宝を大切に磨き上げていく
きっかけにしたい

質問 2017国際花火シンポジウム実行委員会の主な仕事の内容は。

市長 国際花火シンポジウム協会が担う学術発表と花火関連製品等の展示会開催の運営補助や会場整備、歓迎会や花火の打ち上げ、オプショナルツアーの開催などである。

質問 実行委員会事務所の管理運営費用は、どこが負担するのか。

市長 今年度は大曲商工会議所が負担するが、来年度以降の負担については、大曲商工会議所、大仙市商工会及び市の3者で今後協議していく。

子育て支援充実強化の
目標があるか

質問 「待機児童の問題」「保育士の確保」について、早急な改善を求めるが。

市長 今年度、乳幼児の入園数が大幅に増加し、保育士の募集を行っているが応募が少なかつた。保育園等の運営法人と連携して保育士の確保に努めていく。

質問 安心してお願いできる保育園か、保育事業の点検が必要では。

市長 市内の全保育園に、市が年1回指導監査を実施し、入園児童の処遇、職員の配置、設備の状況全般にわたりチェックし、適正かつ円滑な実施を確保している。保育の質の向上及び保育サービスを継続できるように、必要な指導、助言を行っている。

質問 保育所職員を全て正職員とし、入園者数の変動に余裕をもった配置にすべき。

市長 正職員と臨時職員の割合は年々改善されている。今後も法人と協議しながら改善に努めていく。また、保育園運営経費の財源となる、国・県・市町村が負担する「給付費」の改善を国に働きかけてまいりたい。

質問 入社時の面接で、「労働組合を作るな」と言われた職員がいた。また、保育に関する各種研修会に大いに参加させるべきでは。

市長 法人に確認したところ、そのような事実はないとの回答であった。研修も全職員が参加できる機会を設けている。



新政会
渡邊 秀俊 議員

Q 個人情報に関して
過剰反応はないか

A 判断基準を整備し
「有用性」を考慮

質問 互いに助け合い、支え合う力を強くするためにハードルを下げては。

市長 法律では目的を「個人情報」の有効性に配慮しつつ、個人の権利・利益を保護すること」としており、「保護」と「活用」のバランスを取ることが重要と考える。しかし、この法律が平成17年に施行されて以来、法の趣旨に対する誤解やプライバシー意識の高まりなどにより、「保護」の側面が強調され、有用性に基づく「活用」が阻害される過剰反応が見られる。

「地域見守り協力協定」を民間事業者と結び、配達などで訪れた際の異常を市に通報して孤立死を防ぐ体制を整えたほか、災害時要援護者避難支援個別計画の策定により、民生児童委員等と情報を共有し、平常時においても地域の見守りや支え合い活動を展開している。積極的な広報・啓発活動に努めるほか、緊急時に安否情報等の公表をためらわないようにするための判断基準を整備するなど、必要な個人情報があるべきところに提供されるよう「有用性」に意

を配してまいりたい。

木質バイオマス発電を
考慮すべきでは

質問 林業の振興策として、木質バイオマス発電を考へては。

市長 林道の整備、林業従事者の育成・確保、公共施設の木造整備を進めているが、木材価格の長期低迷により依然として厳しい状況にある。木質バイオマスは太陽光や風力と異なり林地残材の搬出コストが高いことや、常時発電を続けるための木材の確保が課題となっている。

関連施設整備への助言や情報提供を進め、策定中の「大仙市総合計画基本構想」において、未利用材の有効活用を林業振興の一つとして位置付けてまいりたい。





大地の会
石塚 柏 議員

Q 堤防の決壊に対する備えは

A 避難訓練の実施と県との
共同点検を働きかけたい

を来さないよう運営してまいりたい。

質問 9月の鬼怒川・渋井川の堤防の決壊は、国民に堤防が決壊する恐怖を与えたが、決壊を想定した避難訓練の実施状況は。また、秋田県との堤防の共同点検の実施が必要と思うが。

大曲駅前西口市街地の
活性化について

活性化について

質問 住民が、経済産業省から支援を受けて駅通りの蔵を改装して、まちおこしに役立てたいと計画している。市も支援を検討してはどうか。

市長 市で支援出来るところがあれば支援したい。

ふるさと融資の活用について

質問 地域振興のために、国は外郭団体を通じて「ふるさと融資」を設けて民間事業者を支援している。民間の事業者が使いやすいよう配慮してはどうか。

市長 ふるさと融資については民間事業者と金融機関との間で、保証料等で齟齬をきたさないよう努めるとともに、市のホームページ等を通じて民間事業者への周知の強化に努めたい。

大曲ヒカリオ駐車場の利用状況は

質問 大曲駅前再開発事業の工事が完了したが、全5階の駐車スペースのうち、1・2階までしか利用されていない。今後好転する見込みはあるのか。

市長 大曲ヒカリオ駐車場の利用状況を目視で行なったが、最も多く使われている時間は午後1時で、駐車可能台数の5割で、オープニングイベントの日ほぼ満車であった。大曲ヒカリオや商店街の利便に支障



だいせんの会
古谷 武美 議員

Q 農林商工部の再編成は

A 将来を見据えた
組織機構の再編を検討

国・県の政策と併せて、市がやるべき取り組みを着実に実施していく部署はなくてはならないものである。議員提案の単独組織を設置し対応する方法もあるが、TPPの影響にかかわる分野それぞれの組織において的確かつ機動力をもって対応していく方法も考えられる。現在、大仙市の将来を見据えた組織機構の再編を検討中であるが、TPP関連の問題については引き続き農業を中心に市全体で対応していく。

質問 農業・水産業・商工観光等各分野における専門的な施策に特化した組織の構築として、「農林水産部」と「商工観光部」の独立再編について伺う。

市長 農林商工部の再編については、全国的な米需要の低迷に加え、TPP交渉の大筋合意による影響を鑑みると、農業を取り巻く状況は一層厳しさを増しており、地域経済の先行きは不透明な状況にある。今までもその時々において組織体制の見直しを行ってきたが、今後の人口減少や少子高齢化がますます進む一方で、稲作依存から脱却した複合部門や六次産業化の推進、TPP問題等新たな課題に取り組む組織体制を強化していくことが必要と認識している。

市長 今後、対策の具体化に向けた国の動向を注視し、国あるいは県の対策で不十分な部分については市独自の施策で補完しながら、地域農業が将来とも持続可能なものとなるよう取り組んでいく。

質問 TPP交渉の大筋合意を受け、農業施策の転換等を見据えた専門部署となる「TPP対策室」の新設について伺う。

市長 国・県の政策と併せて、市がやるべき取り組みを着実に実施していく部署はなくてはならないものである。議員提案の単独組織を設置し対応する方法もあるが、TPPの影響にかかわる分野それぞれの組織において的確かつ機動力をもって対応していく方法も考えられる。現在、大仙市の将来を見据えた組織機構の再編を検討中であるが、TPP関連の問題については引き続き農業を中心に市全体で対応していく。

TPP交渉における
農業問題への対応は

農業問題への対応は

質問 10月5日大筋合意に至ったTPP交渉における農業問題について、今後の対応を伺う。



新政会
小山 緑郎 議員

Q 道路補修の連絡体制の見直しを図っては

A 共同企業体による道路維持管理体制を整備

質問 道路の補修について、業者などに担当道路を設定し「パトロールの日」を設けながら、道路の安全性を高める連絡体制の見直しを図ってみてはどうか。

市長 大仙市雪対策総合計画の中で、除排雪業務について共同企業体を推進し、さらに道路維持業務を包括発注することとしている。冬期間だけでなく通年の連絡体制を含めた道路維持管理体制を整備し、業者による道路パトロールを実施してまいりたい。

また、住民の道路維持管理活動を支援する制度により、清掃・緑化作業等美化活動や除草・除雪等の活動する団体と連絡体制の整備を図り、安全な道路空間の確保に努めていく。

オーバーレイ舗装の促進を

質問 補修を繰り返してきた生活道路など、ピッチを上げてオーバーレイ舗装を実施してほしいが。

市長 幹線道路においては防災・安全社会資本整備交付金を活用し、

集中的に事業を実施する。また、交付金対象外の生活道路については直営舗装作業班を機動的に派遣し、コスト縮減による整備スピードのピッチを上げていく。

ふるさと納税制度の活用は

質問 大仙市にとって、特定事業に充てる「ふるさと納税」の募集の仕方を検討してみるなど、地方創生に向け検討されている「企業版ふるさと納税制度」も視野に、今後の活用方法について伺う。

市長 これまでの募集方法をベースとし、特定事業を前提とした募集の採用を検討し、柔軟に対応していく。なお、「企業版ふるさと納税制度」については、今後の国の動向を注視するとともに、制度内容が確定した際に、首都圏企業懇話会や首都圏ふるさと会等のご意見を伺い、総合的に検討していく。



大地の会
秩父 博樹 議員

Q がん検診を促す対策についての考えは

A これまでの事業をさらに拡充して実施する

質問 当市のがん検診受診率を上げ、市民をがんから守るという観点そして、全市民の定期的ながん検診を定着させるため、がん検診を促す対策として、当市のホームページ上で運用が可能なシステム「がん検診のススメ」の導入を提案するが。

老松副市長 市としても、がん検診を受診することにより、がんをできるだけ早期に発見し、早期に治療することが重要と考えている。これまで、年齢ごとの対象者に無料クーポン券を交付し、検診を受診するきっかけづくりに取り組んでいる。

平成26年度よりコール・リコール事業を実施し、子宮頸がん検診において受診者が増加しており、来年度は胃がん検診についても実施を予定している。

啓発活動についても、これまでの事業をさらに拡充して実施する。

不就労者・引きこもり者の社会復帰支援は

会復帰する前段階で、地域住民とともに地元で貢献できるような仕組み作り、また、支援施設においては、現場の声をしっかりと取り入れた機能の充実が必要と考えるが。

市長 市では平成25年に、全県に先駆けて「大仙市子ども・若者総合相談センター」を設立し、一定の成果を上げている。

利用者の社会復帰を最終目標に据えて、相談業務や居場所の提供等を行っているが、地域住民と協同したボランティア活動等を通じて社会性などを養うことは重要であると考える。また、平成28年度は、相談者のうち、生活困窮の背景をもつ方々に対応するため、総合相談センター内で「生活困窮者自立支援事業」の一環として「就労準備支援事業」を並行して行うこととしており、その実施と総合相談センターの利用者増に対応するため、必要な改修等を行い、不就労者や引きこもり者の支援体制と環境を一層充実させていく。

質問 引きこもり・不就労者が社



大地の会
佐藤 育男 議員

Q 老朽化が進む舗装道路補修の整備計画と予算措置は

A 緊急性や必要性を判断し、計画的に整備を進める

質問 老朽化が進行した舗装道路においては補修が追い付いていない状況であるが、今後、どのような整備計画を進めていくのか。また、道路関連予算のうち、維持管理の予算について、平成28年度の予算編成と中長期的な予算編成方針について伺う。

市長 現存する全ての道路施設を適切に維持管理し、更新していくことは、予算的に困難な状況に直面する。そのため、現在策定を進めている次期総合計画において、評価基準として定めた「大仙市道路整備に関する指針」に基づき、事業の緊急性・必要性を判断し、整備の優先順位をつけて計画的な整備を図る。また、老朽化した主要幹線道路舗装の補修においては、早急に進めなければならぬ時期にきており、防災・安全社会資本整備交付金を活用し、概ね3年を目処に路面補修事業による全面舗装工事を実施する計画である。道路維持管理予算については、必要額を措置し、歩行者や車両の走行の安全性を確保するとともに、市民生活の安定化に努める。



▲穴埋め補修をした市道

物産中仙株式会社の運営は

質問 米菓工場を操業停止した後施設の活用と、今後の運営について伺う。

久米副市長 平成7年に国の補助を受け、米の加工を目的に整備された施設である。県からは、今後の利用目的を明確にしてから米菓工場の施設を処分するよう指導されているので、地域農産物の加工処理施設などとして再利用できるよう関係機関と協議していく。



大地の会
後藤 健 議員

Q いじめ対策の現状は

A 学級経営の充実と組織的な取り組みが効果を上げている

質問 いじめ防止等に係る組織からは、外部人材を登用して様々な視点から対策すべきでは。また、いじめ防止の具体的な取り組みは。

教育長 管理職や生徒指導担当教員などを中心に、必要に応じてスクールカウンセラー等外部人材を活用し、定期的なアンケートやいじめ不登校等の会議を実施するなど、組織的に取り組んでいる。

質問 誰にも相談できずに一人で抱え込み辛いときは、学校を休むこともいじめを抜け出す一つの方策と思うが。

教育長 登校できなくなる事態は極力避ける努力が必要だが、これまでも登校時間帯の変更や保健室等別室での対応、適応指導教室の活用などをしている。学校を休むことも一つの方策だと考える。

質問 いじめ解決後、その対策方法等についての検証や、予防方法へのフィードバックは。

教育長 定期的な職員会議や校内組織の会議で情報交換や検証を行い、いじめをはじめとする諸問題の予防策を講じている。また、生徒指導主事研修会で、各学校の取組事例を持

ち寄って成果と課題を学び、各学校の実践に活かしている。

ふるさと納税について

質問 ふるさと納税の一部を「大曲の花火」や「刈野の大綱引き」など地域のお祭りや伝統行事に充て、「栈敷席」や「花火米」などそれらお祭りや行事にちなんだ返礼品を送っては。

市長 観光振興の観点からも、地域行事への活用を検討するとともに返礼品についても過度に高額とならないよう検討する。

質問 ふるさと納税を活用し、大仙市らしく「花火の質」にちなんだギネス世界記録に挑戦するプロジェクトを立ち上げては。

市長 花火大会の運営主体である実行委員会に伝え、実行委員会でギネス挑戦のプロジェクトを立ち上げるようであれば、活用することも検討する。

※後藤議員はこのほか、マーチングの合宿及び大会の誘致について質問しました。



日本共産党 議員 佐藤 文子

Q TPP「大筋合意」は、
国会決議に反するのでは

A 不満を感じる

質問 大筋合意とするTPP協定案は、重要5品目を聖域とする国会決議に反するのでは。

市長 米の特別輸入枠の拡大や牛肉・豚肉などの関税を大幅に引き下げ、また、関税撤廃時期の再協議規定も盛り込む内容となっている。国会決議で聖域と位置づけた重要5品目についても大幅に譲歩するかたちで合意されたことに、農家の先行きに対する不安や不信感がかつてなく高まっており、生産現場を預かる長としてTPP交渉結果には不満を感じている。

質問 農業と地域経済を守り、地方創生に取り組みようとしている今、TPP協定案を批准しないよう国会議員等に働きかけてはどうか。

市長 国会においてこれまでの交渉の詳細な結果や経過について十分な議論をつくした上で、判断していただきたいと考えている。また、市として協定発効後の国内農業への影響について、国が責任をもって十分な対策を講じていただくよう、市長会などを通じて要望してまいりたい。

地方創生について

質問 地方創生について地方人口ビジョン及び総合戦略の策定にあたり、住民参加の機会を持ったのか。また、実行段階でも住民参加の機会を持つことが望ましいと考えるが。

市長 総合戦略は来年度からの第2次市総合計画に包含されるもの。総合計画の策定では、昨年2千人の市民を対象にアンケートを実施し広くご意見を伺ったほか、「産官学金労言」の代表や地域協議会委員、市民団体など25名で構成する委員会を設置し、総合計画及び総合戦略の検討をいただいている。今後はパブリックコメント（意見公募）などを通じ、ご意見を伺う機会を設ける予定である。戦略に盛り込んだ施策の効果の検証や見直し、必要に応じて戦略の改訂も行っていくものである。

※佐藤文子議員はこのほか、公共施設等総合管理計画について質問しました。

◆委員会審査のあらまし◆

上程された議案は関係各委員会に付託され、審査が行われました。各委員会での主な質疑は次のとおりです。

総務民生常任委員会

条例案4件、単行案1件、補正予算案1件、陳情3件を審査しました。

マイナンバー通知カードの配達状況は

質問 マイナンバーの通知カードの配達状況はどうなっているか。また、市の行政事務手続きでマイナンバーを記載しない場合、事務内容に支障があるか。

答 大仙市全体での通知カードは3万1255通あり、市に返戻されたものは1484通あったが、転出・転居・死亡等や市の窓口で交付されたものがあり、1247通が残っている。また、マイナンバーを記載しない場合は、税や年金、雇用保険などの行政手続きに必要な添付書類が増えることになる。罰則規定はないが、義務であるので協力をお願いしたい。

問 マイナンバーカードを請求しないと事務処理上不都合が生じるか。また、情報システムのセキュリティ管理は万全か。

答 マイナンバーカードは身分証明書代わりにもなり、パソコンを利用して、自分の情報を行政機関がいつ、どことやり取りしたのかマイナンバー画面で確認できる。セキュリティ管理については、各官署で管理することになるが、大仙市でもセキュリティを強める必要があると考えている。

字の区域の変更について

問 字の区域の変更議案がこれまでもあったが、市民から苦情はなかったのか。また、変更された地権者には、どのように通知されるのか。

答 字の区域の変更後に、市民からの苦情はこれまでにない。地権者には、議決後に告示を行い、その後本人に通知される。

高校生への選挙啓発は

問 選挙権年齢が18歳に引き下げられるが、高校生に対する啓発活動はどのように考えているか。また、システム改修経費が予算措置されるが、一般財源となる77万円には地方交付税算

委員会審査のあらまし

入などの交付金はないのか。
【答】 高校生に対しては、今年7月に選挙の仕組みや模擬投票、開票などを学ぶ出前講座を実施した。今後県と連携を図り、出前講座で周知を図りたい。一般財源の77万円は交付金に代用されるものはなく、一般財源となる。

企画産業常任委員会

補正予算案1件、請願1件を審査しました。

大豆栽培モデル対策事業について

【問】 大豆栽培モデル経営体育成事業の面積や収量、品質の基準はどれくらいか。
【答】 ポイントによって助成単価が違っており、面積は大きさによってそれぞれ10ポイント・20ポイント・30ポイントとなっており、収量については10aあたりの収量によって、10ポイント・20ポイント・30ポイント・40ポイントとなっている。また、品質については1・2等級の割合によって、10ポイント・20ポイント・

30ポイントとなっており、ポイントの合計が30以上50未満で助成単価が1千円、50以上70未満が3千円、70以上で6千円となっている。

林道施設災害復旧事業費について

【問】 路肩決壊箇所を原型復旧させる補修とのことだが、雨に弱い林道の復旧事業の際に道路横に水路を付けるなど、雨水を考慮したかたちでできれば壊れにくくなるのではないか。
【答】 災害の原因としては路床を水が流れることで路肩が壊れることが多い。今回の補正については災害の査定になった箇所だが、それ以外の災害や路床が壊れた場合には維持補修工事で管理していきたい。



▲被災した林道（協和地域）

産地づくり推進事業費について

【問】 この事業費は市が足りない部分を出さなければならぬ状況になっているが、国や県からの配分を増やすことはできるのか。
【答】 国からの配分は春にされてきたが、国ではその配分枠の中で調整することとなり、また、今年度からは県からの配分もあり、この県枠配分については面積が拡大した分について配分されている。今回、大仙市には5600万円ほど配分されている。

教育福祉常任委員会

単行案3件、補正予算案3件、陳情1件を審査しました。

大仙市総合公園野球場等の指定管理者の指定について

【問】 2社応募していて、株大曲スポーツセンターを選定した理由は。
【答】 株大曲スポーツセンターは、安全が最重要視されるスキー場の運営に長け

ており、また、ゴルフ場経営で培った芝生や土作りの専門知識や技術が反映できるため選定した。

中仙地域スクールバス運行業務委託料について

【問】 運行基準は決まっているのか。
【答】 国の基準で、小学校4km以上、中学校6km以上となっているが、冬期間の道路事情により国の基準を満たさなくても対応している。

【問】 清水小学校で8名の利用があるが、どの地区でどれくらいの距離なのか。
【答】 大吹・沖田・万願寺の3地区で、片道8kmであり合併前から利用している。

【問】 登下校時だけの運行契約なのか。
【答】 登校時1時間、下校時は時間割などで2〜3往復するので2時間、その他運行前後に1時間ずつ点検時間を設け、1日5時間の契約である。

各種大会派遣費補助金について

【問】 練習の成果として、補助金予算は喜ばしいが、

少子化により児童数が減少しており、派遣費用も比例して減ってきているのか。
【答】 子どもたちや指導者が日々頑張っており、少子化に比例して減少するのではなく、むしろ成果の表れとして予算が増加している。

建設水道常任委員会

補正予算案2件、請願1件を審査しました。

市民ゴルフ場管理運営費について

【問】 管理運営費を増額するが、この増額分は、老朽化したトイレ改修などを行うのか。
【答】 市民ゴルフ場の管理運営業務については、株大曲スポーツセンターに委託しており、使用料収入をもって委託経費とする契約を締結している。今回、使用料収入の増加に伴い補正するが、あくまでも管理運営費の中の管理委託経費の補正であり、施設改修や草刈機購入に係る経費などは、管理運営費の中に別途予算計上している。



第4回定例会で審査内容を述べる
石塚柏決算特別委員長

決算審査を終えて

今回の決算審査は、国・地方を問わず財政がひっ迫していることを念頭に審査を行いました。特に重要な3点について報告いたします。

一つは、財政健全化の進捗についてです。平成26年度決算で、一般会計と特別会計で借金が更に増えていきます。ただ、市立病院・上下水道事業の借金が少なかったために、全会計で僅かながら借金を減らしたという厳しい決算でした。大仙市では1千億円を超える借金を抱えていますので、財政の健全化が今後とも必要と判断されます。

二つ目に、人口も減り、市の収入も減っていくことは目に見えています。すから、市にたくさんある公共施設を、公共施設等総合管理計画で統廃合や改修工事を検討していく必要があると判断します。

三つ目として、「待機児童の解消」の取り組みです。現在、政府は子育て支援にやつきとなつていきます。また、本県の人口減少の原因の一つに、

若年女性が首都圏に職を求めて流出することが上げられます。そこで、保育士の確保を担当されます社会福祉法人に対して、一層確保に努力されることを市から要請していただきます。

さて、決算の審査は、総務民生分科会・企画産業分科会・教育福祉分科会・建設水道分科会の四つの分科会に分かれて詳しく審査と検証をしました。審査の過程で委員から出された指摘や評価については、その都度、担当部長・課長に伝えていきますので、平成28年度の予算に反映させることを望みます。

◆各分科会の主な審査意見は次のとおりです。

総務民生分科会

①自主防災組織の結成率は計画どおり進み成果が見られるが、各組織において防災訓練を実施するなど、自主防災組織が形骸化しないよう、実質的な成果目標をもつて進められたい。

②中山間地域における定期日前投票所の開設など、高齢者世代の投票率を向上させるための試行は評価できる。しかし、平成27年4月の秋田県議会議員選挙においては、30歳までの若年世代の投票率が全体投票率に比べ著しく低下している。大型ショッピングセンターなどでの期日前投票所の開設を計画しているが、選挙権年齢が18歳へ引き下げになつ

たことも十分に考慮し、さらに投票率向上に向けた環境整備づくりを検討されたい。

企画産業分科会

①市街地再開発事業が竣工したことに伴い、商店街の方々と関係団体との連携を図り、本来の事業目的である駅前のにぎわいの創出について検討をされたい。また、FMはなびの放送内容の充実に努め、市民の方々が日常的にFMはなびを聴取したいと思える放送局になるように努められたい。

②新規開店応援事業について、企業誘致を進めながらも、大仙市発の産業を起こすような、起業を目指す人材の育成・支援策について検討を行い、空き店舗の解消に努められたい。ひとつに、事業実施後も経過を見守るとともに、企業の成功例等を話せる方の講演等の実施を検討されたい。

教育福祉分科会

①各種検診について、特にガン検診の受診率が低い状況となつている。検診によりガン発見・早期治療に結びつくよう広く市民に対して啓発し、未受診者に対しては電話勧奨等を定期的に行うなどねばり強く受診率の向上を進め、市民の健康増進に努められたい。

②神岡野球場付近の周辺環境整備について、駐車スペースの拡充や

シャトルバスの運行路の確保による交通渋滞緩和など順調に進んでいるようである。今後市の大きな事業になつてくる『全国500歳野球大会』も控えていることから、周辺環境の整備に一層努められたい。

また、現在29年度開催予定の『全国大会』に向けて、全国各地でPR活動行っているようであるが、大会を盛り上げるには全国各地から多数のチームの参加が不可欠であり、今後も十分な予算を確保しながら更なる誘致活動に努められたい。

建設水道分科会

①道路維持管理費・道路改良事業費については、合併以降、予算額が年々減少し、道路状況について市民からの苦情も多い。国の社会資本整備総合交付金の交付率が年々下がってきており、維持管理・改良工事を進めるには厳しい状況であるのは理解できるが、道路は市民生活や社会活動を支える基本的なインフラであり、安心・安全な交通網を確保するためにも、当初予算の増額や、年度途中での予算の組み替え等を検討されたい。

②有償で借用している下水道課所管の施設用地については、契約書に契約期間・単価等が明示されていないものがある。契約書の内容を精査するとともに、契約更新の際には、内容を相手方と十分に協議し、適切に契約を締結されたい。

特別委員会を設置

◆公共施設等総合管理計画調査特別委員会を設置◆

今期定例会本会議開会中に、鎌田正議員ほか2名の議員より「公共施設等総合管理計画調査特別委員会の設置について」の発議案が提出され、第4日の本会議で採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決され、また、10名の委員が指名・選任されました。

平成26年4月、総務省は全ての市町村に対し、施設の更新・統合・長寿命化など今後の施設管理の基本方針を記載した「公共施設等総合管理計画」の策定を要請しました。

大仙市では、すでに平成25年度から、公共施設の現状に関する調査を始めており、本年6月「公共施設の見直し、施設の現状に関する調査結果」を公表し、大仙市の公共施設の全体像と将来の更新経費の試算が明らかにされました。それによれば、将来の更新経費の試算では、現在の財政規模を維持できたと仮定しても、保有する全ての施設の維持更

新は難しいとのことでした。

このため、市では将来の公共施設のあり方、取り組み方策について①計画的な長寿命化対策②施設の総量縮減の推進③財産の有効活用④維持管理コストの低減⑤取り組み方策と実施の優先順位を記載した「公共施設等総合管理計画」を平成28年度策定に向け作業を進めております。

大仙市議会としても「公共施設等総合管理計画」の策定にあたっては、この先、人口減少や少子高齢化の進行が懸念され、また、歳入の多くを占める地方交付税の通減がなされていく中にあるため、市の健全な財政を維持していくことを念頭に置く必要があります。一方で地域住民の多様な意見・要望を的確に把握し反映する必要があり、また、地域住民に議会として説明責任を果たす必要があることから、公共施設の現状と利用実態の調査研究を進めてまいります。

公共施設等総合管理計画調査特別委員会委員は次のとおりです。(敬称略)

委員長	児玉 裕一
副委員長	佐藤 育男
委員	後藤 健
	石塚 柏
	古谷 武美
	金谷 道男
	小松 栄治
	佐藤 清吉
	武田 隆
	本間 輝男

用語の解説

「議会」

国民の意思を代表する者として選挙で選ばれた議員(代議員)の合議により、国や地方公共団体の法律や条例を決めるなど、団体としての意思決定を行うための機関です。国においては国会、地方公共団体においては都道府県議会・市町村議会があります。日本国憲法第93条に、地方公共団体にその住民に直接公選された議員をもって組織する議会を議事機関として置くことが明記されています。

イオンモール大曲で市民と意見交換

去る10月11日「より開かれた議会」を目指し、「議員と語ろう in イオンモール大曲」を、イオンモール大曲「花火の広場」で行いました。

市政の諸課題に柔軟に対処するため、市政全般にわたり、イオンモール大曲に訪れた市民と意見交換をしようと議員有志で企画し、趣旨に賛同した議員も参加して開催されたものです。

当日は午前と午後の2回に分けて実施され、来場された市民の皆さまから、様々なご要望やご意見をいただきました。なお、2月にも開催を予定しております。



FMラジオで議会の活動を紹介

議会の仕組みや活動などをわかりやすくお伝えします。ぜひお聴き下さい。

FMはなび “市議会だより”

月曜日 18:45～ 金曜日 10:15～
土曜日・日曜日 12:45～ (再放送)



議会のインターネット中継

パソコンやスマートフォンなどから、大仙市ホームページの議会のページに接続すると、ライブ中継や過去に配信した録画映像をご覧いただけます。

市議会トップページ→議会中継(ライブ中継、映像アーカイブ)

会派行政視察報告

◆大地の会行政視察

10月30日、群馬県高崎市を訪問し「空き家緊急総合対策」について学んでまいりました。大仙市でも、主に倒壊等の恐れがある危険空き家の解体に主眼が置かれ「空き家等の適正管理に関する条例」を制定し対策をしておりますが、高崎市では空き家の解体のみならず、解体跡地の除草や空き家の清掃などの管理、さらには空き家をお年寄りや子育て世帯の交流の場となる地域サロンや住居等へ活用する際の改修助成や家賃助成まで、総合的かつ手厚く対策がなされておりました。大仙市においては今後さらに空き家が増えることも予想される中、「危険空き



▲先進的な空き家対策を学ぶ

家」とならないよう高崎市のように適正な管理をしつつ、地域コミュニティ活性化の観点からも、空き家を活用することも検討していく必要があると感じました。

◆新政会・市民クラブ 会派合同行政視察

11月1日～3日まで山梨県北杜市にある「北杜サイト太陽光発電所」を視察してまいりました。北杜市は人口4万8760人、面積602.89km²、市の予算は286億円です。山々に囲まれた山岳景観と名水百選、また、日本一の日照時間は年平均2300時間であり、まさに「山紫水明」の地です。

さて、視察の目的は、再生可能エネルギーの普及促進とその効果、効率的な発電と施設運営です。この施設は世界に類を見ない希有な発電所で、アメリカ・中国・ドイツをはじめ、世界9カ国27種類の太陽電池モジュールの評価・研究開発・有効性・実用性の研究をしております、平成23年に譲渡を受け、北杜市の太陽光発電所として運営されています。大仙市でも西仙北地域強首地区に約1万3000枚

の太陽光パネルを設置し、12月25日よりメガソーラー発電所が稼働しておりますが、冬期間の日照問題と雪対策、今後の再生可能エネルギー発電と蓄電を効率的に行い、電力会社ばかりでなく、いかに企業等に売電するかが課題であると考えます。



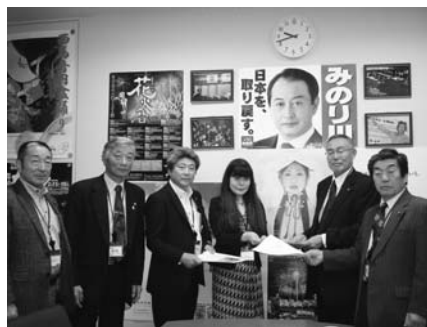
▲北杜サイト太陽光発電所にて

◆だいせんの会行政視察

10月15日～16日、御法川信英議員と金田勝年議員への陳情、そして「神奈川県議会定例会」視察と「大仙市ふるさと物産フェア」を応援してきました。

陳情は①国道105号線南外金屋地区への「道の駅」設置②回目③古四王神社再調査及び修繕工事実現③角間川親水公園園水量確保改善工事実現の3件でした。

神奈川県議会定例会視察は大仙市出身の川本学議員の計らいによるもので、他県の議会を視察し、大仙市に活かせる事例を習得しました。大仙市ふるさと物産フェア応援では、市と民間、そして議会も一緒になって取り組んでいる姿を見ていただくことで、都会の皆さんに大仙市をアピールできたと思えました。



▲議員会館の事務所で要望書を手渡す

◆日本共産党市議団行政視察

日本共産党市議団は10月19日～21日に、政務調査として兵庫県相生市と南あわじ市を訪問し、研修を行いました。

相生市は「年少人口兵庫県下最下位」を受け「子育て応援都市宣言」をするとともに、定住促進「11の鍵」と称し、新婚世帯家賃補助・

定住者住宅取得奨励金・出産祝金支給・保育料軽減・学校給食費無料など11の定住子育て支援策を展開してまいりました。それにより年少人口は増加に転じ、過去7年間の出生数は横ばいとのことでした。



▲相生市では子育て応援パンフを駅やホテルにも置いています。

南あわじ市は平成19年度からの縁結び事業や新婚世帯家賃補助、出産祝金支給・医療費助成をはじめ、平成27年度からは3歳児以上保育料無料化に踏み切るなど「産みたい、育てたいまち」に向けた取り組みを展開しています。

両市とも定住や子育てに係わる様々な施策を講じているが、どれが最も効果的といったものではなく、総合的な対策が大事だと言っていることが大変印象的でした。

議会の動き

- 25日 議員説明会・会派代表者会議・広報広聴常任委員会
広報広聴常任委員会・教育福祉常任委員会「所管事務調査」
- 16日 第4回定例会(第4日)・議会運営委員会
議員説明会・会派代表者会議・広報広聴常任委員会
- 14日 議会運営委員会
- 9日 各常任委員会審査・各常任委員会協議会(総務民生除く)
議会運営委員会協議会・議会改革推進会議
- 8日 第4回定例会(第3日)・議員説明会
議会運営委員会
- 7日 第4回定例会(第2日)
- 12月 第4回定例会(第1日)
議員全員協議会・会派代表者会議・広報広聴常任委員会
- 27日 第4回定例会(第1日)
- 26日 総務民生常任委員会「所管事務調査」
- 24日 教育福祉常任委員会「所管事務調査」
- 20日 議会運営委員会
- 17日 建設水道常任委員会「所管事務調査」
- 16日 決算特別委員会全体会・会派代表者会議
- 13日 秋田県市議会議長会「議員研修会」
- 10日 決算特別委員会分科会審査
- 9日 教育福祉常任委員会説明会
- 4日 県南4市議員研修会
- 1日 新政会・市民クラブ「会派合同行政視察」(〜3日)
- 11月 1日 教育福祉常任委員会説明会
- 9日 決算特別委員会全体会・分科会審査
- 10日 決算特別委員会分科会審査
- 13日 秋田県市議会議長会「議員研修会」
- 16日 決算特別委員会全体会・会派代表者会議
- 17日 建設水道常任委員会「所管事務調査」
- 20日 議会運営委員会
- 24日 教育福祉常任委員会「所管事務調査」
- 26日 総務民生常任委員会「所管事務調査」
- 27日 第4回定例会(第1日)
議員全員協議会・会派代表者会議・広報広聴常任委員会
- 2日 第4回臨時会・議員全員協議会・会派代表者会議
議会運営委員会・各委員会年長委員会
各常任委員会協議会・議会運営委員会協議会
決算特別委員会・同委員会建設水道分科会協議会
だいせんの会「行政視察」(〜16日)
日本共産党「行政視察」(〜21日)
企画産業常任委員会「所管事務調査」
決算特別委員会正副分科会長会議・議会改革推進会議
大地の会「行政視察」
友好交流都市「神奈川県座間市」親善訪問(〜11月1日)

本市への行政視察来庁



▲本会議 起立採決の様子

- 5日 徳島県阿南市議会(学力向上について)
- 6日 埼玉県春日部市議会(自殺予防対策について)
- 20日 埼玉県草加市議会(学力向上について)
- 20日 栃木県佐野市議会(学力向上について)
- 21日 長崎県松浦市議会(学力向上について)
- 21日 東京都新宿区議会(学力向上について)
- 23日 千葉県富里市議会(空き家条例について)
- 30日 静岡県磐田市議会(空き家条例について)
- 30日 横手市議会(公文書館について)
- 11月 福岡県糸島市議会(間伐等促進計画について)
- 6日 千葉県市川市議会(英語指導力向上について)
- 13日 岩手県遠野市議会(休耕田の活用について)
- 16日 岩手県紫波町議会(空き家条例について)
- 17日 北海道室蘭市議会(男女共同参画プランについて)
- 12月 1日 山形県議会(花火を活用した観光誘客について)

議長交際費 (10月1日~12月31日)

項目	件数	金額
予算額		900,000円
既支出額	54件	476,048円
今回支出額	20件	159,490円
内訳	弔慰	0件 0円
	慶祝	9件 73,100円
	協賛	11件 86,390円
予算残額		264,462円

3月定例会日程のお知らせ

- 2月25日(木) 本会議第1日 (施政方針演説・議案上程等)
- 3月7日(月) 本会議第2日 (一般質問)
- 8日(火) 本会議第3日 (一般質問)
- 9日(水) 本会議第4日
(当初予算質疑・議案質疑・委員会付託)
- 10日(木)・11日(金)・14日(月) 常任委員会審査
- 18日(金) 本会議第5日
(委員長報告・質疑、討論、表決)

※現時点での予定であり、変更される場合があります。
変更内容は随時、議会ホームページでご案内しています。

高齢化社会に突入しています。私の住む地域も最近目立つのが空き家です。10年前の3倍にもなりました。離れて暮らしている子供たちが一生懸命ケアしている空き家もありますが、ほかはほとんど崩壊するのを待っている状態です。景観も悪く、屋根のトタンが飛んできたりして危険な家もあります。10年後、20年後はどうなっているのか、ここに住む者として、他人の家とはいえ他人事ではないのです。空き家対策を今以上にしっかりとやってもらいたいと思います。

また、我々の集落といえば田んぼに囲まれています。先般、我々農家の反対の中でTPPが大筋合意されました。農業に関してはこれから関税が大幅に減らされ、安い農作物がどんどん入ってきます。田んぼを委託する人が増えていきます。家は離れても美しい田んぼを次世代に残したい気持ちは、受託する側も同じです。そのためには再生産を可能にしていける農業でなければなりません。市としてもTPP対策をしっかりとやって下さい。

(大曲地域 60代男性)

大仙市の名勝巡り (協和地域)



▲白糸の滝



▲白滝神社



初冬の『白糸の滝』

聖徳太子や藤原秀衡など、遠き古くより多くが訪れたといわれる「白糸の滝」は、昔は全国から集う山伏たちの荒行が、近年では男若衆の寒修行が行われていました。また菅江真澄も紀行文「月の出羽路」に記しており、昭和27年には秋田観光三十景に選ばれています。

その名のとおり、黒い岩肌を流れ落ちる様は、何本もの白糸を垂らしているようです。滝壺の側の大岩に構える「白滝神社」には、合格祈願の札がいくつも並んでいました。

「くらしの歴史館(旧峰吉川小学校跡)」と併せ、四季折々に表情を変える白糸の滝と、囲む自然に触れてみてはいかがでしょうか。(佐藤文字子 記)



(委員長 石塚 柏記)

向かって右から

- 委員 佐藤 文字子
- 委員 橋村 誠
- 委員 渡邊 秀俊
- 委員 小松 栄治
- 副委員長 小山 緑郎
- 委員長 石塚 柏
- 委員 秩父 博樹
- 委員 佐藤 育男
- 委員 高橋 幸晴
- 委員 大山 利吉

編集後記

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

今年は、昨年を引き続き「大曲の花火」を正面に捉え、花火工場、花火資料館、国際花火シンポジウムの開催の準備と産業の振興に力を入れてまいりたいと思います。

また、大曲駅前再開発事業で南街区の健康増進センター・社会福祉協議会・認定こども園・商工会議所の建物も出来ました。駅前西口のにぎわいづくりもこれから本番です。少しでもこの大仙市が経済力をつけて雇用の機会を増やすことを、我々議会も頑張つてまいりたいと思います。

これまで、茂木隆議員を委員長に広報広聴常任委員会が編集を担当してまいりましたが、このたび、私を含め新たに10名の委員が広報広聴常任委員会を担当することになりました。読みやすい議会広報誌であることはもちろんのこと、市民の皆様が紙面に参加できる議会広報誌を目指してまいりたいと思っております。どうぞ応援をよろしくお願ひ申し上げます。